

公立大学法人横浜市立大学災害見舞金要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、公立大学法人横浜市立大学において、災害見舞金制度の実施に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 災害見舞金制度は、火災・地震・風水害等により著しい被害を受けた学生に対し、見舞の意を表し、学業を継続するための資金を援助することを目的とする。

(対象)

第3条 災害見舞金申請の対象となる者は、学部・大学院生で、次の各号のいずれかに該当する者とする。ただし、科目等履修生、研究生、聴講生及び特別聴講学生を除く。

- (1) 暴風、豪雨、洪水、地震その他の異常な自然現象又は火災により著しい被害を受けた者
- (2) その他理事長が特別に認めた者

2 前項にかかわらず、次の各号に該当する者に災害見舞金は給付しない。

- (1) 同一事由で災害見舞金の給付対象となった者

(見舞金申請)

第4条 災害見舞金の申請時期は年度を通じ随時とするが、災害の発生した日から60日以内に申請書及び受給に必要な書類を揃え、理事長に提出する必要がある。ただし、理事長が特別な事情があると認めた場合は、この限りではない。

(給付の決定及び通知)

第5条 理事長は、予算の範囲内で給付を承認するものを決定する。

2 理事長は、給付の承認及び不承認について申請者に通知する。

(給付)

第6条 災害見舞金の給付にかかる詳細は、別途細則に定める。

(給付の取消)

第7条 理事長は、災害見舞金の給付を受けた者が次の各号のいずれかに該当する場合は、学生生活保健協議会の意見を聞き、その承認を取り消すことができる。

- (1) 虚偽の申請、その他不正の手段により給付を受けたとき
- (2) その他受給者として適当でないと認められたとき

(返還)

第8条 前条により見舞金給付の資格を喪失した場合には、別途定める方法により災害見舞金を返還しなければならない。

(細則)

第9条 この要綱の実施に必要な事項は、公立大学法人横浜市立大学災害見舞金細則で定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成 20 年 1 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 4 月 1 日改正）

この要綱は、平成 25 年 4 月 1 日から改正施行する。